

# 兵隊が戦争に行くとき

作詞・作曲】レマルク  
【訳詩】穂高五郎

0 / 3

□□□

鉄砲に花飾り 兵隊さん戦争に行く  
二十歳の恋を胸に 足並み揃えて行く  
名誉の杖を入れて かつぐ袋の中は  
帰ってくるその時にや

汚れたシャツばかり

いざ命かけて 戦争へ 戦争へ  
可哀想な奴さ 恋もあきらめて

けれど夏になると

いつだって出かけて行く

空が見ているよ長い長い行列を

いざ命かけて 戦争へ 戦争へ

恋のささやきも 太鼓で消される

華やかな歌声で 戦争に行くけれど

戻って来られるのは

運のいい奴だけさ 運のいい奴だけさ

運のいい奴 だけなのさ

# 兵隊が戦争に行くとき

1

【作詞・作曲】レマルク  
【訳詩】穂高五郎

鉄砲に花飾り

兵隊さん戦争に行く

二十歳の恋を胸に

足並み揃えて行く

名誉の杖を入れて

かつぐ袋の中は

帰ってくるその時にや

汚れたシャツばかり

いざ命かけて

戦争へ 戦争へ



兵隊が戦争に行くとき

2

可哀想な奴さ

【作詞・作曲】レマルク  
【訳詩】穂高五郎

恋もあきらめて

けれど夏になると

いつだって

出かけて行く

空が見ているよ

長い長い行列を

いざ命かけて

戦争へ 戦争へ

恋のさむさみも

太鼓で消される

兵隊が戦争に行くとき 3

【作詞・作曲】レマルク  
【訳詩】穂高五郎

■ ■ ■  
華やかな歌声で

戦争に行くけれど

戻って来られるのは

運のいい奴だけさ

運のいい奴だけさ

運のいい奴

だけなのさ